

# 教育委員会だより

お子さんへ一言…

## 「がんばっているね」

皆さんはアニメ映画「千と千尋の神隠し」をご存じでしょうか。この作品の前半にとても印象に残る場面があります。前半のあらすじは次のとおりです。

人間が入ってはいけない異界に迷い込んだ少女・千尋が、ハクという少年に出会う。(一緒に来た千尋の両親はすでにブタに変えられている)

そして、まず湯屋に入るため、千尋はハクに言われたとおり人間と悟られないために



息を止め、湯屋に向かう橋を渡る。しかし、目の前に飛び出したカエルの姿にびっくりして息をもらし、人間である千尋がその異界に入り込んだことがばれてしまう。

ハクは、そのカエルに術をかけて千尋をなんとか湯屋に入れることができたが、湯屋は人間が入ったことで大騒ぎになっている…

その後、「ごめん。わたし、息しちゃった」と謝る千尋に、ハクが開口一番言った言葉は「なんだと思いますか。」「なんでもうちょっと頑張らなかつたの。もう、千尋が息したから、ばれちゃったじゃないか」と、失敗した千尋を責める言葉がすぐに浮かんできます。

しかし、ハクは「いや、千尋はよく頑張った」と言うのです。結果は失敗に終わりましたが、頑張っていた千尋をありのまま受け止め、認めています。この言葉を聞き、千尋の気持ちはすごく救われただろうと思います。

また、ある方から次の言葉を聞いたことがあります。

「よく落ち込んでいる時『頑張れ、頑張れ』って励ましてくれる人がいるけれど、その時、正直私はこう思っている。『私、頑張っているって！頑張っているって！』って今こうして落ち込んでいるの。これ以上、何を頑張らせて言うの』だから、もし励ましてくれるなら、『頑張っているね』って言ってくれた方がうれしい」

確かに「頑張れ」という言葉は、一見いい言葉のようです。しかし、その言葉には相手を思いやるというよりは言っている人の思い込みの気持ちの方がよく伝わってきます。その一方、「頑張っているね」は、相手を見てねぎらっている優しい気持ちが見えなくてきませんか。

夏休みも半ばを迎えました。お子さんの宿題の仕上げりも気になる頃になり、ついつい叱りたくなる時もあります。でも、そこは少し我慢して、本当に頑張っている姿を見た時にすかさず一言言ってあげてください。

「がんばっているね」

(学校教育課)

## まちの文化財 ③⑤

### 小城の大庄屋記念館



となる離れが中心にあり、土蔵や納屋などを合わせて、敷地は約3700平方メートルあります。母屋の玄関前には樹齢200年以上もある山梨の古木があります。松や梅を植えるのが普通ですが、日頃から飢饉への心構えを養うために梨の木を植えたのではないのでしょうか。

離れの1階には、高柳に住んでいた画家・小林礪川が描いた太公望の襖絵があります。馬をおさえる従者、地上に立つ文王、釣りをする太公望の姿が3枚の襖に描かれています。ていねいな筆致で、優しい人物像が描き込まれています。

他にも、京都府知事として活躍した能座出身の北垣国道男爵の瑞色香春の扁額を展示しています。「色みずみずしく春香」と読みます。

長島家住宅の価値は、谷川沿いの高い石垣と広い屋敷が但馬を代表する農村風景を表し、水道や電気のない時代の豪農住宅がそのままの姿で保存・活用されていることです。特に礪川の襖絵がある離れは、絵画や漢詩に彩られた農村文化の美術館といえます。

夏休み期間中は、毎日、特別開館しています。ぜひ訪れてみてください。

(社会教育課)